



2024 チエリー通信8月号

8月イベント情報

- 2日（金） 0, 1歳夏祭り
- 5日（月） 2, 3歳夏祭り
- 6日（火） サッカー教室（オリオン、ペガサス、カシオペア4, 5歳）
- 7日（水） 4, 5歳夏祭り
- 10日（土） 土曜保育お休み
- 23日（金）～24日（土） 年長児野外活動
- 27日（火） 体育教室（アンドロメダ、カシオペア5歳）
- 29日（木） 音楽教室（オレンジ、オリオン）
- 30日（金） 避難訓練

園長のおすすめ〇〇

今月は“おすすめ”というわけではなく、園長(私)の趣味と子どもの育ちや保育の共通する点についてお話します。

テーマとなる趣味は

“園芸”です。



私の園芸は自宅庭で地植えを基本としています。

今年から本格的に草花の植栽をきちんと行い、中でもバラを丁寧に育てています。

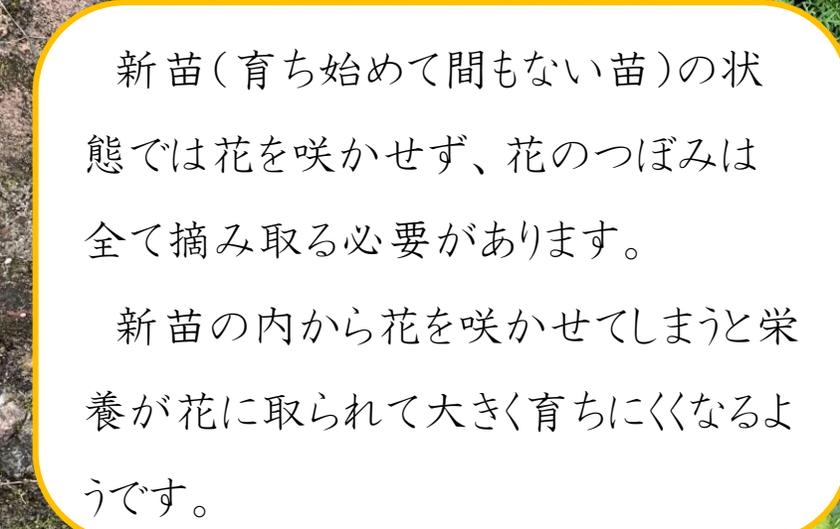


5月、6月、7月の日課は早朝5時からの水やりと草取り。
お庭をお持ちの方はネガティブなイメージが強いかもしれませんが、庭を“創る”草花を“育てる”という意欲で向き合う水やり、草取りはとても楽しい作業です。





バラについて調べると、大きく、きれいに花を咲かせるためには手順、工程がいろいろとあることが分かります。



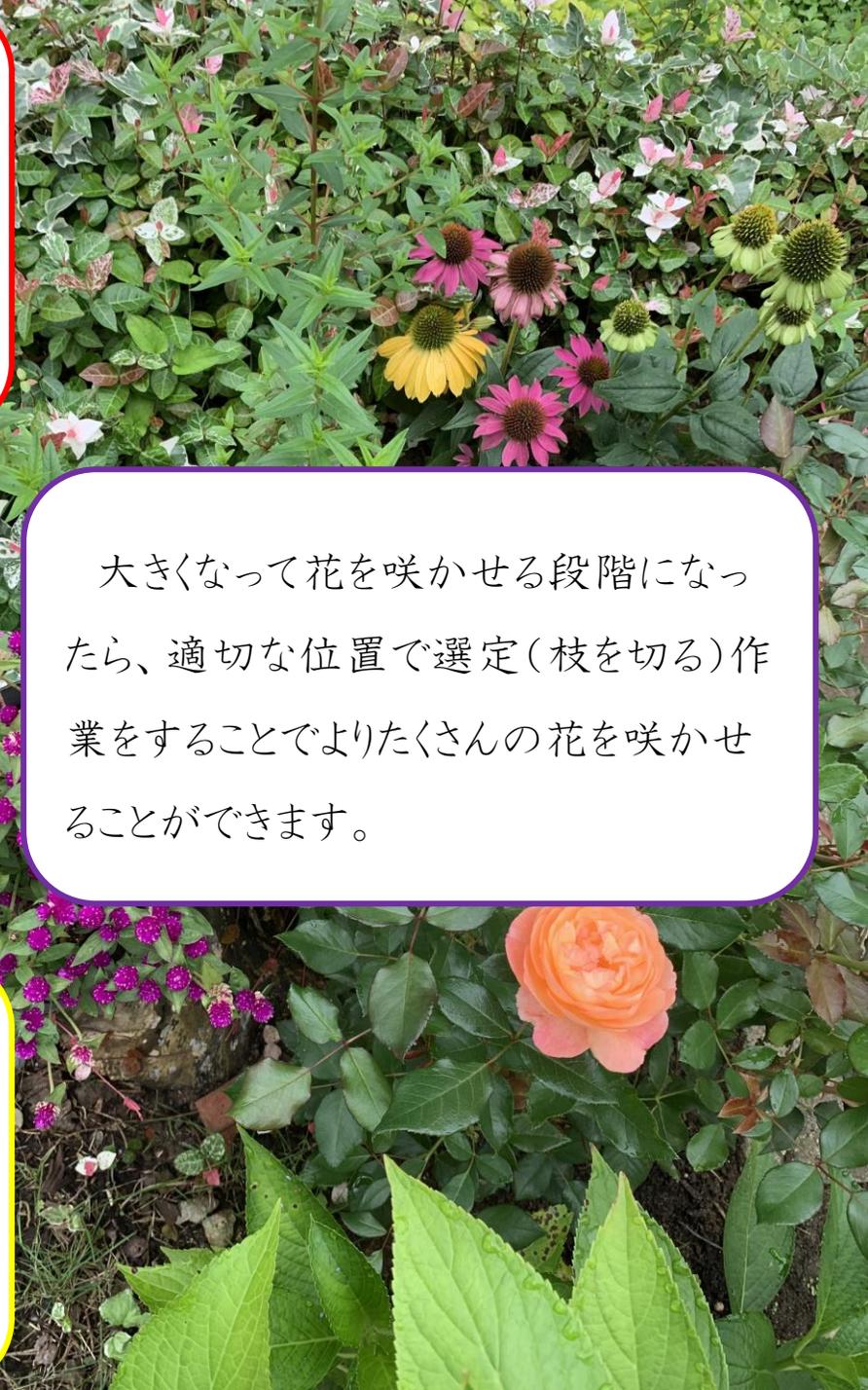
新苗(育ち始めて間もない苗)の状態では花を咲かせず、花のつぼみは全て摘み取る必要があります。

新苗の内から花を咲かせてしまうと栄養が花に取られて大きく育ちにくくなるようです。

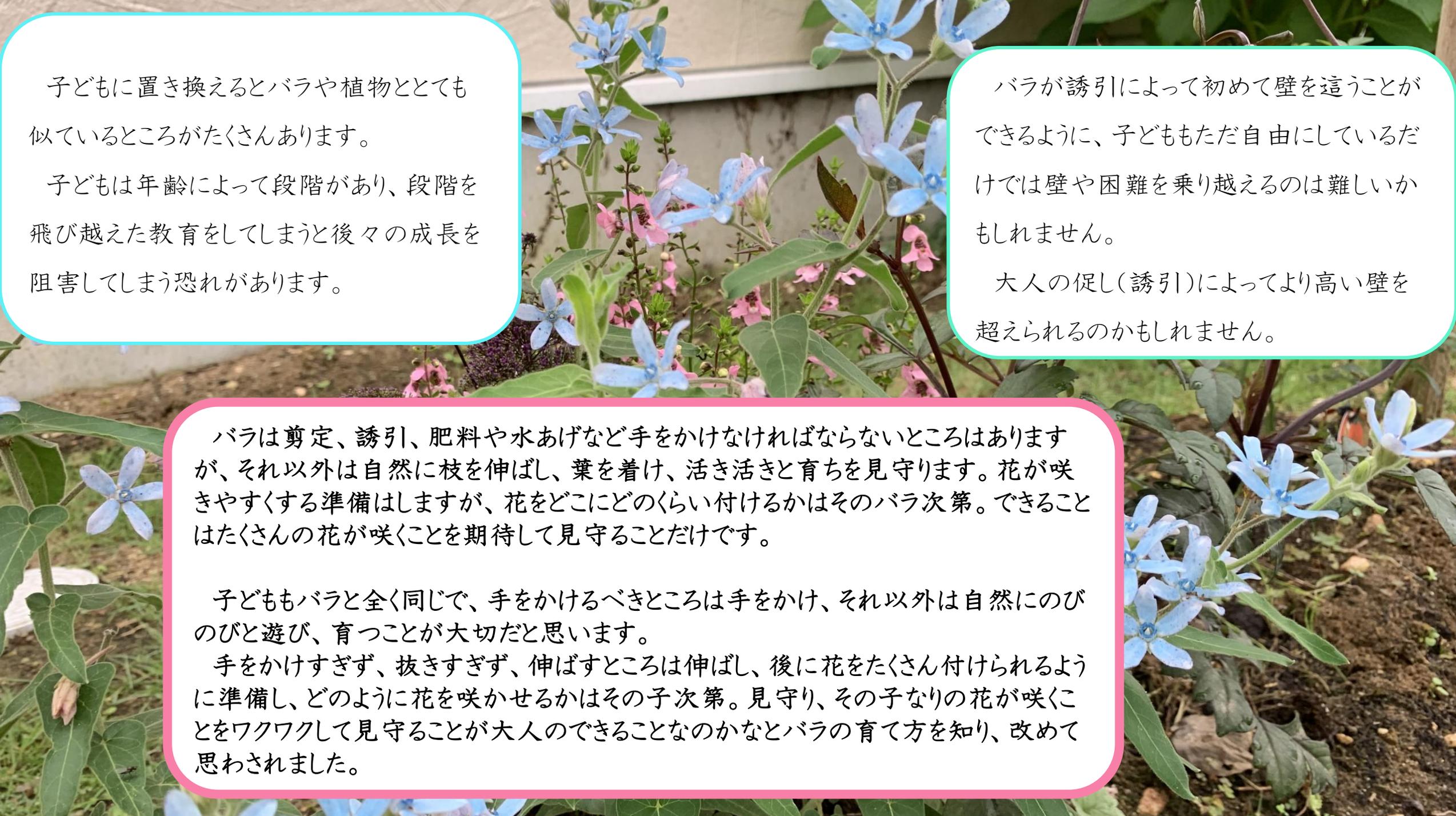


よくフェンスや壁にバラを這わせたりしますが、実はバラは自分で絡みついて壁やフェンスに這うことはできません。

人がひもで結びつけたりして誘引してあげる必要があります。



大きくなって花を咲かせる段階になったら、適切な位置で選定(枝を切る)作業をすることでよりたくさん花を咲かせることができます。



子どもに置き換えるとバラや植物ととても似ているところがたくさんあります。

子どもは年齢によって段階があり、段階を飛び越えた教育をしてしまうと後々の成長を阻害してしまう恐れがあります。

バラが誘引によって初めて壁を這うことができるように、子どももただ自由にしているだけでは壁や困難を乗り越えるのは難しいかもしれません。

大人の促し(誘引)によってより高い壁を超えられるのかもしれませんが。

バラは剪定、誘引、肥料や水あげなど手をかけなければならないところはありますが、それ以外は自然に枝を伸ばし、葉を着け、生き活きと育ちを見守ります。花が咲きやすくする準備はしますが、花をどこにどのくらい付けるかはそのバラ次第。できることはたくさんの花が咲くことを期待して見守ることだけです。

子どももバラと全く同じで、手をかけるべきところは手をかけ、それ以外は自然にのびのびと遊び、育つことが大切だと思います。

手をかけすぎず、抜きすぎず、伸ばすところは伸ばし、後に花をたくさん付けられるように準備し、どのように花を咲かせるかはその子次第。見守り、その子なりの花が咲くことをワクワクして見守ることが大人のできることなのかなとバラの育て方を知り、改めて思わされました。